

耐熱性細菌由来PPK2クラスIIIポリリン酸キナーゼ (31.7 kDa)

Cat. No. CEGZ-6412

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	50℃までの熱安定性を有し、ヌクレオチド一リン酸および二リン酸の双方に作用して活性を示す、組換え細菌由来クラスIII PPK2ポリリン酸キナーゼ。
用途	研究用途およびin vitroにおけるNMP/NDPリン酸化、ATP再生、ならびに最高50℃までの温度条件下でのポリリン酸自動型ヌクレオチド交換。
別名	PPK; PPK2クラスIII; ポリリン酸キナーゼ; ATP: ポリリン酸ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	細菌性
由来	組換え大腸菌 (E. coli)
形態	液体
EC番号	EC 2.7.4.1
CAS登録番号	9026-44-2
分子量	31.7 kDa
熱安定性	50℃まで熱安定性を有する
特異性	PPK2クラスIII: ポリリン酸自動型のヌクレオチド一リン酸および二リン酸のリン酸化。三リン酸を超える過リン酸化が生じる可能性がある。
基質	ヌクレオチド一リン酸; ヌクレオチド二リン酸; ポリリン酸
反応	$ADP + (\text{リン酸})_n = ATP + (\text{リン酸})_{n-1}$
備考	ATP再生に使用できます。大腸菌 (E. coli) で産生した組換えタンパク質を、加熱処理およびHis6タグアフィニティクロマトグラフィーにより精製しています。最適な反応時間および酵素濃度は、基質により異なる場合があります。
プロトコル	70 mM Tris-HCl、pH 7.6 (50℃にて) 10 mM MgCl ₂ 5 mM GMP 6 mM ポリリン酸 酵素 0.04 g/L 50℃、終夜 (オーバーナイト)
使い方	研究用およびin vitro用途にのみ使用してください。

保管・発送情報

保存方法	-20℃
------	------